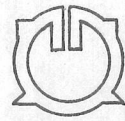


発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(内)
郵便番号 289-17



横芝
広報

横芝

横芝町の人口と世帯

<11月30日 現在>

人 口	12,355 人
男	5,879 人
女	6,476 人
世帯数	2,854 戸

新春の御挨拶

横芝町長 椎 名 登



町民の皆様には明るく豊かに昭和四十五年の新春をお迎えのこととおよろこびを申し上げます。

顧みますれば、昨年はご理解深い議会の協賛と、町民各位の御支援によりまして、計画事業は順調に推進することができました。即ち

中央公民館の新築

漸く新築の気運が熟し、旧庁舎跡に鉄筋二階建の最新様式の設計による舎屋が目下施工中で、春早々竣工の予定であります。

学校プールの完備

横芝中の水泳プールが昨夏完成し、これで各校全部にプールと体育館が完備、児童生徒の体育の向上を期し得るわけ

であります。

東町の保育所も上堺保育所の落成に次いで、東町にも保育所新築の工事が進められていますが、今春から開所の運びであります。

漁業協同館の建設

沿海漁業の不振を補う事業として、内水面栽培漁業の開発を目指した養鱈事業が軌道に乗ったので、更に鮎養殖事業に乗り出すべく、先ず企画協議と社交のセンター、漁業協同館を建設し、漁獲物の処理加工設備も完備されました。

舗装町道一万余

一般主要町道の整備改善については特に力を注ぎ、予算の許す限りこれが施工に努め、上町～長倉線、本町～両国線、横小～鳥喰線、西～新青線、宮前～屋形線等の改良舗装、東町～横小通学路の改善等延長八キロに上る実績を挙げ、舗装町道の総延長は一万余米を超えました。

以上のほか町営住宅の建設、農道、農道橋の整備、交通安全施策の強化等々、着々整備される施設、環境を町民皆様には十二分に活用されて、個人の事業繁栄に、或は生活の充実に向上に御精進いただくよう念願いたします。幸に昨年は町社会福祉協議会が新構想をもって改組発足しましたので、行政施策では行き届かない所を補足して、キメ細かく住民の福祉増進活動を展開していただけること期待您的しております。

本年は町の長期(三ヶ年)

計画の最終年度でありますので、引続き道路網の整備を中心に、教育、産業の振興に力を注ぎ、既設設備の充実強化と整備補完を重点に行なうべく所存であり、明年度以降の御協力をお願いしまして、新春の御挨拶いたします。

町民の皆様には益々御壮健御多幸に過ぎませうお祈りしますと共に、町政の執行につきましても、引続き全幅の御協力をお願いしまして、新春の御挨拶いたします。

謹 賀 新 年

横芝町議会議長

議長

副議長

議員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 池 滝 | 伊 野 | 水 野 | 伊 藤 | 土 屋 | 渡 辺 | 鈴 木 | 平 山 | 藤 城 | 斉 藤 | 長 野 | 高 橋 | 河 井 | 八 角 | 市 原 | 伊 東 | 伊 藤 | |
| 祐 | 敏 | 一 | 正 | 喜 | 久 | 繁 | 清 | 義 | 一 | 己 | 正 | 昇 | 夫 | 茂 | 重 | 右 | |
| 蔵 | 広 | 朗 | 郎 | 郎 | 一 | 雄 | 繁 | 清 | 義 | 一 | 己 | 正 | 昇 | 夫 | 茂 | 重 | 右 |

年頭のことば

横芝町議会議長 伊藤 右仲



昭和四十五年の新春を迎え町民の皆様は謹んで御祝詞を申し上げます。

四十四年度横芝町の予算は積極的な諸事業を計画しての特大型のものでした。これが議会の審議過程におきましては、町民皆様の代言者として慎重に研究討議し、苟くも町民の意思に反することなく、また公の財政を危くすることのないよう、細心の助言忠告を怠らず、誠心努力してまいりました。その後の執行状況

は当局の誠意により、順調整に、責任の重大さを痛感しては当局的誠意により、順調整に、責任の重大さを痛感して

この輝やかしい発展途上の横芝町議事会として私共はこの上ない名譽であると同時

に、責任の重大さを痛感しております。その故に議会の運営に当っては、私利や感情に支配されることを厳に戒め、片よった主義主張に捉われることなく、飽くまでも是非々々主義をもって貫き、町勢の向上発展と民生の福祉増進の線に沿った行政が行えるよう努力いたしております。この私共の使命達成には町民皆様のご理解ご支援がなくてはならないのであります。何卒本年も倍旧の御援助御協力を切にお願い申し上げます。次第でございます。

謹賀新年

横芝町役場

町長 椎名 登

助役 真行寺 勇

収入役 土屋 直勝

総務課長 小高 猶次

企画課長 小沢 春光

建設課長 川島 忠

税務課長 田中 静

産業課長 佐瀬 哲司

住民課長 押尾 光雄

老人ホーム院長 本間 重寿

給食センター所長 鶴ノ沢 一郎

横芝町教育委員会

委員長 石橋 瑞夫

委員 椎名 弥一

委員 越川 薫

委員 伊藤 一

教育長 渡辺 祥嗣

横芝町選挙管理委員会

委員長 江嶋 勇治

委員 早川 壮男

委員 伊藤 正男

委員 実川 男

会長 伊藤 博

副会長 桜井 敏雄

委員 川島 襄次

委員 市原 文夫

委員 八角 喜久夫

委員 大沢 丈夫

委員 伊藤 勝衛

委員 怒賀 源也

委員 鈴木 寛

委員 伊藤 辰男

委員 滝田 武夫

委員 斉藤 一広

委員 鈴木 元

委員 伊藤 栄

委員 若梅 光儀

世界農林業センサス

実施について

一、調査の目的

この調査の目的は、国、県、市町村の農林行政にかかる諸施策、および農林業に関する統計調査の、標本抽出母体としての基礎資料を整備するために、実施するものである。

二、調査の対象

経営耕地面積十アール、または二月一日現在で過去一年間に於ける農業生産物の総販売額が五万円以上の農

業事業体、および所有権または所有権以外の権限に基づいて、育林または伐採を行なうことのできる山林面積が、十アール以上の林業事業体について行なう。

三、調査の期日

昭和四十五年二月一日現在に行なう。

四、調査事項

(一) 農業事業体調査

(1) 農家にあつては世帯員の状況、農家以外の農

業事業体にあつては、その経営の態様

(2) 農業労働力

(3) 農業用地および保有山林

(4) 家畜および蚕

(5) 農業用機械その他の施設

(6) 農業生産物

(二) 林業事業体調査

(1) 林家にあつては世帯員の状況、林家以外の事業体にあつてはその経営の態様

(2) 林業労働力

(3) 山林

(4) 育林および伐採

(5) 林産物

五、調査の方法

この調査は、農林業セン



自衛官募集中

サス調査員により、各受持調査区内の調査の対象となつた農家、林家について、面接さきとり調査の方法によつて行なう。

ふる里の散歩路 (9)

旧上堺寺院めぐり

「こんな所にも寺院があったのか？」と、苔むした碑に懐古の情を寄せるのも楽しいことだと思えます。

今日は旧上堺の寺院めぐりを紹介しましょう。

横芝へ上堺県道を下り、清水の十字路を通り抜けると、県道は大きく曲ります。その手前の左手には土地改良の記念碑が建っています。此処がコースの基点です。

まず、道路のカーブと反対の畑の中を見ますと竹藪に囲まれた小さな森が見えます。これが延命寺です。花崗岩の門柱をくぐると庭一ぱいに繁茂する千寿蘭が南国情調をただよわせています。此の寺にはスピッツが二匹飼育されていますので注意して下さい。延命寺を出ますと、丁度左手の方に清水東部落の森が見えて区画整理された農道がまっすぐに続いています。その突付が不動院です。入ってすぐ左側に朱塗のお堂が綺麗です。お堂の側にこの土地が生んだ弓と劍の達人川島亮先生の顕彰碑が建っています。碑文には「先生は特に弓道に勝れ寸余の強弓をひく」とあります。寸余という二三五ミリの位の厚さの弓になる訳ですからその力量が偲ばれます。

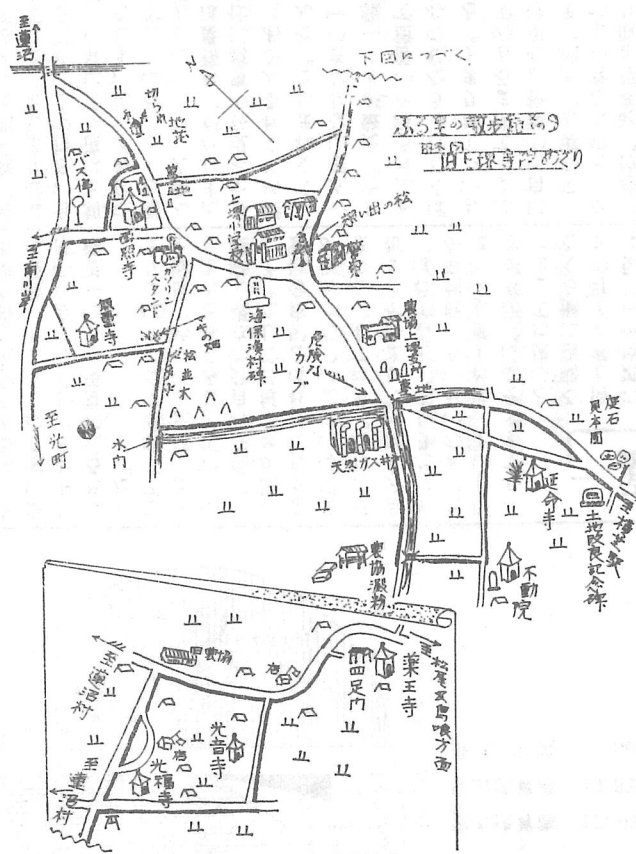
不動院の門前から前方右手を眺めるとコンクリートの建造物が見えます。これは横芝の開発には欠くことの出来ない天然ガスの井戸です。此処を目的に進みますと、先程の県道に出ます。ここはよく自動車溝に飛込んだりする所ですから気を付けて下さい。ここから左手の排水溝沿に進みますと小さな水門があり道が突当りになりますから右に折れて下さい。そして、右に松並木が見え、来ましたならば左手のマキの畑の手前から左に入ってください。人家の生垣がブロック塀になりますと、それが無量寺です。

此の寺には成田山の近くで見かけた海保〇〇守の墓石が建立されている筈ですから探訪して下さい。

無量寺から田圃を越すと県道に曲り交差する道路は上堺県道で、次に訪れる西照寺は右手のすぐそこです。入ってすぐ右手には寒椿が咲いて、今切の松林を越えて聞えてくる汐騒と共に、此処にも南国の趣がただよっているようです。椿の花から境内の左に目を

を移しますと、立派な石碑が建ち「英風永存」の題字が目につきます。その下に刻まれた大貫大尉他の方々の氏名の中に姓のみで名前が刻まれていることに気付くと思えますが、これは第二次世界大戦に敵機と交戦し、此の付近で散華した方々の慰霊碑で、軍衣等に着けられた氏名等による他判らないためということです。

西照寺の前の農道を右に進み、稍々広い道に出て左の方を眺めますと道端に小さな祠が見えます。これが本紙で紹介したことのある「切られの地藏」です。今でも玩具の刀が祠の中にいっぱい供えられています。



いま立っている辺りは墓地が群集しています。「切られの地藏」を見ましたならばいまの道を引返し左手の墓地の手前を入りましょう。そして人家の森から外れて田圃が開けて来ると向うにカマボコ型の上堺小学校の体育館が見えます。

路は一応二本になりますが、どららを進んでも同じ舗装道路に出ます。光福寺は寺というよりは、一般の住宅のように見えますので手前の神社を目標にして下さい。舗装道路の突当りになった所が旧上堺農協です。ここから右に曲って大きく左にカーブした右手の四足門が薬王寺です。茅葺のお堂を眺めていますと、その裏の方から墨染の衣に網代笠という雲水僧でも現れそうな情景です。野鳥のさえずりが冬の田圃を奏しませてくれます。一時は土地改良事務所庫裡が使用されたとかで境内には土地改良の功労者顕彰碑が建っています。

今日のコースは薬王寺が終点ですから元の道を帰り、時間がありましたら光音寺にも寄り見ましょう。この寺は安外古く創建らしく、寺内の墓石には元禄、享保、正徳等の年号が見られます。お堂や庫裡の軒下に蔵われている古い唐篋や筵編織が珍らしく目をたのしませてくれます。略図をたどると元の舗装道

県警察官募集

県警察署では若い優秀な警察官を多数募集しています。

資格は高等学校卒業程度以上の学力のある方で、昭和十七年四月一日までに生まれた男子です。

受付期間は昭和四十五年二月十七日までですが、詳しいことは県警察署が駐在所でお尋ね下さい。

路です。小学校が見えて来ると突然道路の真中に松の太木が現れます。この松は小学校が寺小屋の時代から有ったとかで古老の要望で伐り残されたという、称して「想い出の松」だそうです。

この附近には幕末の儒学者海保漁村の誕生の地等もあります。「想い出の松」を過ぎると上堺県道です。左に曲り巡査駐在所、塗装店、農協支所等の前を通りますとその先に見えるのが先程の天然ガスの井戸です。

カーブで事故の多い所ですから帰りにも充分気をつけて下さい。

(コースが人家から隔離された場所にも入るので、なるべく男子を交えた数名のグループで散策をされるようおすすめいたします。)

横芝町財政状況書

昭和四十三年年度会計決算

建設事業に一億二千万円

才入総額	325,156千円
才出総額	302,273千円
差引残高	22,883千円

一、一般会計について

決算規模は才入二〇、四%才出一八、〇%といずれも前年度を上廻りましたが、総じて順調な経過をたどり健全性を堅持しつつも多大の成果をおさめ終了いたしました。

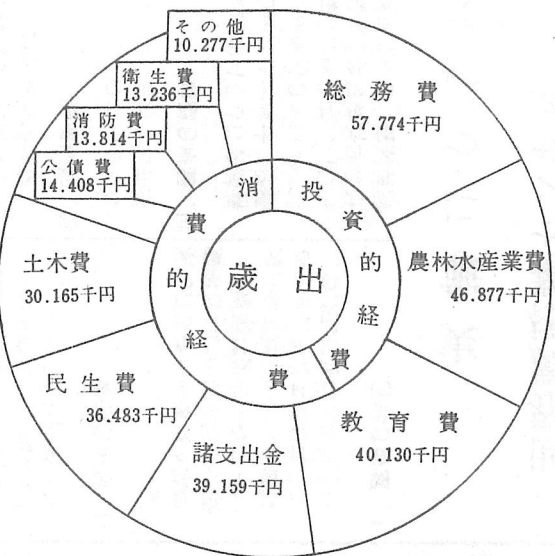
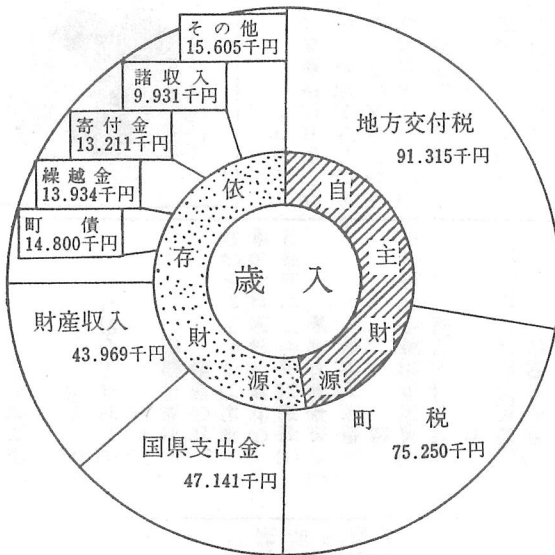
才入

町税、地方交付税の一般財源(使う目的を制約されない金)の占める割合が相変わらず大きく事業の執行に大きな財源となっております。

才出

諸物価の高騰や社会状況の変動から財政需要は各費目にあわせてかなりの伸びをみせましたが、消費的経費の徹底的

な節減と事務の合理化に努めた結果、一億二千六百万円(才出決算額の四二%)におよぶ建設事業を執行することができました。



- なお執行された主な建設事業は次のとおりです
- ▽道路整備事業費 二、三九八万五千円
 - ▽農道整備事業費 一、一六〇万円
 - ▽上堺小プール建設事業費 八二〇万七千円
 - ▽上堺保育所建設事業費 七九八万二千円
 - ▽消防施設整備事業費 七二七万八千円
 - ▽青年館建設事業費 四八一万九千円
 - ▽漁業施設整備事業費 四六一万二千元
 - ▽農業構造改善事業費 一四二万四千元
 - ▽農村共同館建設事業費 一三〇万円
 - ▽漁業協同館建設事業費 一三〇万円

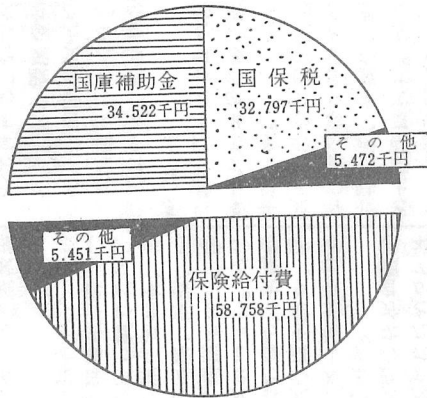
『たばこ』は
町内で買ひましよう
たばこ消費税は
町の大きな財源です

二、特別会計について

国民健康保険特別会計に於ては、受診率の上昇による療養費の増高から相変らず大きな伸びがみられますが、有線放送電話特別会計、老人ホーム特別会計については経常的収支決算となっております。

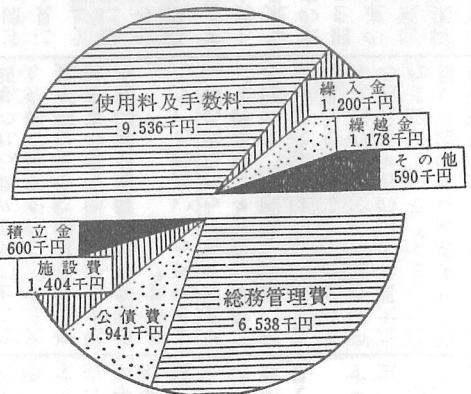
国民健康保険特別会計

歳入決算高	72,791千円
歳出決算高	61,209千円
差引残高	8,582千円



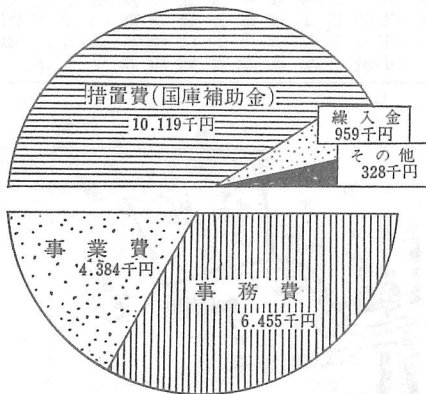
有線放送電話特別会計

歳入決算高	12,504千円
歳出決算高	10,483千円
差引残高	2,021千円



老人ホーム特別会計

歳入決算高	11,406千円
歳出決算高	10,839千円
差引残高	567千円



意見・体験発表

生涯前進

姥山 伊藤 幸子

昨年十一月三日、横芝中学校体育館で開催された青少年のつどい横芝町大会の席上、代表青少年から発表された意見や、体験五題を収録して見ました。いずれの青少年も、様々な環境の中に在って、それぞれに苦しみ、悩み、思索し、無限の可能性を求め、力強く未来に向けて努力している様子がうかがえ、心強く感じられます。

高校卒業後、少なからぬ希望を抱いて、上京を決意していた私に、先輩の反対は冷たく、そのために、「勝手にしろ」といった投げやりの気持ちから、私は何も考えず町のあちこちの商店に働らくことに決めてしまっただけです。そこは、仕事がきびしい上、疲れも激しく、また、人のいろいろな批判等があったりして、ともすれば、自分を忘れてしまいうる毎日でした。それでも、このままではいけない、もっと何かをやらなければと、自分に言い聞かせる毎日でした。そして、現在の自分の立場と職業について、しみじみと人生を考へ、将来をみつめ、目標をたてて前進するようになりました。

ある人の言葉の中に「苦難の中をまっしぐらに自らの使命に生きぬく人こそ、最後にあらゆる人の信用を勝ち得るものである。毎日地味な、誰も見ていないような仕事であっても、それを大切に、一歩一歩忍耐強く、自己の建設のために進んでゆく人こそ、私は心から尊敬したい」と思っています。また、人間の価値についても「学歴や名誉や地位、財産等を取りのぞいた、その人自身のもつ人間としての実力、人柄、そして常に自己の建設を心がける情熱によって決まるものです」とも聞いております。ともすればくじけそうなの私の心に希望あふれる暖かい言葉でありました。先輩がよく「職場の第一入者になりなさい」と激励してくれました。そんな折、奨めてくれる人があって、店員から現在の事務の仕事を変えましたが、事務量はどんどん増え、つらいことも度々、働らくところはどこでも大変だなあと思いましたが、でも前とは違って仕事に一層張り合いを持つことができました。自分自身、強くなる生き方です。

と決心しました。これも良き先輩のアドバイスがあったからこそと思ひ感謝しています。だから、私も、後輩をいなかへ引きとめるよう努力しています。いなかに使われて生まれてきた人、一人でもいい、その人がいなかに残り、その中から、あらゆる社会を構成する人が出て、明るい町づくりに協力してくれるなら、今までの自分の苦労も消えてしまうような気がします。

新聞テレビで報じているように日本は、国民総生産高世界第二位、国民一人当りの年間所得第二十二位という社会にあって、個人の幸福と社会の繁栄が一致する新社会を建設すべく、青年として悩みぬいていきたいと思ひます。

青年とは悩みの異名である。とある人がいっていました。悩み多き青年時代が一番成長できるものと思ひます。私は、自分と同じ年代の人より、多少苦労し、悩んできたおかげで、いくらか成長できたと思ひます。これからも人間としての成長を忘れず、前進していきたいと思ひます。

私のみたアイオワ州

木戸台 伊藤 斉 紀

私は三年前、アメリカは五大湖の近くのアイオワ州で、一年間の短期間ではあります、が、一農家に家庭生活を共にし、農業研修をして参りました。農業技術及び農業経営云々というよりも私なりにみた農家の日常生活または外国において感じた点を二、三話してみようと思います。

アメリカのコーンベルト地帯の中心地であり、とうもろこしを自給飼料としての肉牛及び豚の畜産ステートである。アイオワは、見渡す限りとうもろこし畑、牧草地と僅かの大豆畑です。私の入った農家は、約三百町歩の土地を持ち、併せて千五百頭の家畜を飼養していました。日常生活を通じ、まず感じた事は働く時とレジャーの区別がはっきりしていることです。機械が発達しているでそれ程働かないのではないかと思っていたのですが、それとは逆に、むしろ日本人以上ではないかと思われまます。農繁期すなわち、とうもろこしの収穫、乾燥草の作成期には早朝から夜遅くまで頑張ります。大豆の収穫期などライトをたよりに夜中までコンバインを運転した日もあった程です。

しかし、どんなに忙しくても日曜日は、朝から休みとい

うのは徹底していました。平常の日より二時間遅く起き、家族揃って教会へ出かけるのです。気候、風土、食事などの全く異なる土地で精神的にも肉体的にも疲労気味だった最初の二、三ヶ月は、私にとって日曜日がどんなに有意義であったことでしょうか。

私も現在はまだ完全に実行できませんが、日曜毎に休める農業経営を考えている一人です。レジャーの点において、家族的に楽しんでる姿が非常に印象的でした。例えば、日曜の午後家族揃って、あるいは隣の家族等とさそい合って湖に行き、それぞれが持参した食事を、雑談しながら頂くとか、また夏の暑い日は、親戚が近くの公園に集まり、食事をしながら歌を歌ったり、持ち寄ったアルバムを見せ合うとか、とにかく家庭生活を非常に大切にしています。また学校におけるスポーツゲーム、音楽会、或いは各種団体の会議等が夕方から夜にかけて行なわれていたという事です。アメリカンフットボール、バスケットの学校対抗ゲームは全てナイターで対抗ゲームは全てナイターでグラウンドに、体育館にぞくぞく乗り込み、大変な声援の中でゲームが行なわれており

ました。農業人口が多いアイオワ州だけに、日中働いている各農家の事を考えての事でしょうか。

私は現在二十数頭の肉牛を飼育しております。環境と衛生上の事を考えて、自宅から約一キロ程離れた所に山を切り開き半数放牧しており、もちろん気候的にも耕地面積等も異なる関係上、私が出来ませんが、始めてから三年、どうやら軌道に乗りつつあります。夏のさわやかな朝、冬の冷たくひきしまった朝の空気を味わう時、また牛達がエネルギーギッシュにもくもくとエサを食べている姿を見る時、何とも言えない満足感がこみ上げてきます。

私がアイオワ州にいた時、

よく昼休みや日曜日等、自分の時間をみつけては一人で広い牧場へ行き、澄んだ大空をのびのびとあおぎ見ながら、のびのびとした気持ちでいろいろな空想にふけたり考えたことがありました。そんな時、何か自分の身体がもくもくとふくれ上ってゆくような、言葉では言い表わせない、外国でなければ得られない何かを考えました。

私は、今でもその時の気持ちを大切に自分の心の中にしまひ込んでいくつもりです。

私は、この気持ちを私の人生に於けるプラスアルファとして、牛が大地を一步一歩踏みしめて歩くように、自分なりの信念を持ち、あくまでも大きな気持を持ち、農業に生き抜こうと考えております。

感激の優勝旗を手にして

横芝中二年 海保 久美子

わたしは、小学生のころから中学校に入ったら、庭球部に入ろうと思っていました。兄が中学校時代、庭球部へ入っていたことも理由の一つです。クラブに入って始めのうちには、空ぶりの基本練習ばかりだったので、クラブをやめていく人も出てきました。が、数人の人たちが、絶対やめないことを誓い合いました。先輩たちの試合を見て、「わたしも早く試合にでた

仲になりました。寒くなってくると、コートを守るため一面にむしるを敷かなければなりません。この作業のめんどうさ、つらさは、庭球部員にだけしかわかりません。

二年生に進級して、わたしたちは初優勝の喜びを知りました。忘れもしませんが、それは飯岡の団体戦です。この時は皆んな飛び上って喜びました。七月には各大会が日曜日ごとに続き、練習も一段と熱が入り始めました。その上、実力、期末と二つもテストがひかえていきました。このころは、鈴木、小川両先生も直接指導で、練習もきびしさを増します。練習が終わって下校といっても、八キロも離れた家路に着くころには、もう外は真暗でその上お腹はすくし、体は疲れはてて泣きたい気持ちです。家に着くとすぐご飯を食べて、どうやらお腹がおさまると、こんどは眠む気がおさってきます。一、二時間寝てしまってから勉強する、という始末です。案のじょう実力、期末とも今までより悪く、母には「勉強とテニスとを両立させなければだめだ」と、しかられてしまいました。キャプテンの加瀬君は、たくさん役員をしていますが成績がいつも良いのです。いいえ、加瀬君ばかりではありません。勉強と運動を両立させている人は何人もいます。だから「わたしにだって」と自分の心に言い聞かせ、次のテストは今まで以上に頑張

り、今度はテニスに全力を尽くすことを誓って、目前の試合に臨みました。

山武支部の予選では、団体で男女とも優勝し、個人で六チームが代表に選ばれました。しかし、県大会までの練習が大へんでした。特に二泊三日の合宿はきびしく、鈴木小川両先生は今までになく熱心に教えてくださいました。わたしの大きらいなグラウンドストロークを何回もやりました。

県大会の開会式の時、始めて優勝旗、優勝杯を見ました。その時は優勝するとは夢にも思っていませんでした。決勝戦の途中男子が優勝したと聞いたときは、一層元気が出てきました。努力のこいあって女子も優勝することができました。金メダルを渡されるまでは、優勝の実感がわいてきませんでした。優勝旗を手にしてはじめて優勝の喜びに心がはずみました。しかし次の日の個人戦は上位入賞は男子の一チームだけでした。前日の優勝にうなづかれたのがいけなかったのです。大会終って、つくづく「テニスをやっていたてよかったなあ。」と思えました。

わたしは二年生です。わたしたちを励ましてくださった町長さん、PTAの皆さん、そして自分自身のためにも、もう一年間練習と努力を重ねて二年連続優勝をなすとげ、さらに、高校三年生の時にくる千葉国体を目指そうと思

農村女性としての自覚

牛 熊 田 鍋 静 枝

私は農業に従事するようになつてから九二年になりまして、それまでは、のんびりしていた私も二年間実際に体験して、自分だけではどうすることもできない農業のむづかしさや厳しさをしみじみと感じさせられました。

野菜一つを作るにしても、病害虫、除草等の農業について多少でも知識がなければなりません。植物を育てるのに最も基礎的な土壌と肥料、或は温度等についても、よく知っていなければ、良い物は作れないと思います。

また農業は他産業にくらべて、自分達の作った作物を農民自身で価格を決めることができません。しかも皮肉なことに、生産者価格が安く、消費者価格が高いのです。このような世の中の矛盾を、私達はどうすることもできないのです。

現在の農業はあまりにも多くの問題をかかえています。それらを一つ一つ掘り下げて考えてみますと、すべて政治につながっているのです。私は、政治のことを詳しく知りません。でも自分なりに

新聞や本を読んだりして、少しずつでも努力することを惜しまないつもりです。政治にうといからと言ってすまされるものではないと思うからです。又、農村の男女関係について考えてみますと、今までの農村では、女性は男性に依存して生活してきたように思われていますが、それは単なる錯覚であつて、むしろ男性は女性から意志の自由を奪い取つて主体性のない意志の弱い女性を男性自身がつくり上げてしまったのです。そのような束縛から女性のがれることができなかったのだと思います。すべて夫に服従してきた昔のお母さん達の歴史を見る時、私は何か割り切れないものを感じるのです。

私達女性も男性と変わりなく、作物の作り方や、家畜の飼いや、或いは農機具等についての話ができれば、仕事ができたらどんなに毎日の生活に生きがいを感じて楽しくなることでしょうか。

男性でも女性でも、人間であるならば誰もが生活の向上に限らず、精神の向上も望むのが普通ではないでしょう

か。また私はそれが自然だと思ひます。

昔の農村婦人の歩んできた醜い道は二度とくり返したくありません。いくら男性中心の社会でも、これからは女性の力も必要になってきたのではないのでしょうか。

私達女性も本当は意志の自由が欲しいのです。一個の人間として主体性のある生き方をしたいのです。本当は、男性自身もそれを望んでいるのではないのでしょうか。

今では、かつての穏やかさや、長閑さがなくなつてしまつた農村。農業は更に、私達には想像もつかない厳しい状態に立たされるかも知れません。これからは農民こそあらゆる面で勉強することを要求されているのです。だから私達農村女性も男性ばかりに寄りかからないで少しでもいい、一生懸命努力し立ち上つていかなければならないのだと思ひます。

生活の中からの歴史観

屋形荒場 伊藤 一 男

一、郷土史研究の体験から

高校生のころ、ぼくは坂田の城山によく登つた。城主の井田一族の盛衰史を調査しはじめたのは、中学二年の時である。その調査がかなりの成果をあげ、毎日毎日ふるい文献をたよりに城跡を歩き廻つていた。あれから七年になつた。その間、坂田城の調査研究も完成し、町には史談会が組織され、町史編纂さんのプランもすすんでいる。七年の歩みの中で、痛切に感じたのは歴史的な遺構の荒廃と、一般の方々への「それを守ろう」とする歴史観念の喪失であつた。横芝町の北部にある三ヶ所の城跡や無数の古墳は、草

や樹に埋もれ、あるいは崩されていく。また文献類は散失しやすく、家屋の新築などで貴重なものが日ごとに失われつつある。こうした現状に対して、ある人は「時代だなあ」と嘆き、ある者は「万事は金の世の中さ」と割りきり、ぼくは決して嘆きはしない。安易な分別もしない。やはり現在の自分の生活も、歴史の一時点なんだなあという確認のもとに、郷土の歴史をみつめたい。

「歴史」それも草ぶかい郷土史の研究に、金銭的な利益はない。城跡や古墳や古文書は価値の再生産はしない。しかし、歴史は人間の精神的な

支柱として、明日をひらく為の大きな条件となる(郷土愛とか民族的な自覚など)高度に、複雑に発展した現代では経済合理主義の中で、ぼくらの人間性や個性は失われてきている。社会科学や哲学、芸術などは、失われたものを復権するための材料だと、ぼくは思う。歴史もそのために学ぶのである。先輩の歩んだ筋道をさぐり、その中に教訓を求め地域の発展の糧とする。そこにぼくら郷土史家の任務があると思う。農村から青年が流出し、地域が過疎となり崩壊してゆく現在、ぼくらは郷土の伝統というものを、どう継承していくべきなのか

二、土着的な歴史観を

そうした目的意識をもって七年間やってきた。しかし、坂田城の調査や古墳の発掘からは、生活に根ざした成果は得られなかった。井田氏の歴史に、農民や漁民の歴史はない。古墳の調査には生産点に迫る成果がなかった。

現在は城跡や古墳より、古い農機具や伝統芸能に興味がある。それは「庶民こそ歴史の主人公である」という歴史感が、ぼくの内部に育っている証しである。二、〇〇〇年に及ぶ日本の歴史、それは決して少数の英雄や富者が築いてきたのではない。野や山や海辺で、名もない多くの人々が自らの体を傷つけながら、血と汗を流しながら開いてきた。そうした人々の歩みの中にこそ、ほんとうの歴史があると思う。そうした立場から、ぼくは今「千葉県の農業史」を学習し始めている。

近代一〇〇年の歩みの中で大きな役割を果たしてきた農民の「生産」の意味を、農業技術の発展と農民の生産をまもりぬく運動の歴史を調査してみたい。

こうした土着的な歴史観が育たない限り、歴史的な財産や地域を守り発展させることはできない。

三、ひとつの提案

生活と生産点からの歴史観を育てる学習のひとつとして「母の歴史」の調査を提案したい。お母さんに、子供の頃から結婚を経て今日までの生活の様子を聞いてみる。そこにはきっと、一人の女性として、母として、人間として生きぬいてきたお母さんの姿を通して、当時の日本の歴史が鋭く浮きぼりにされると思う。是非やってみて欲しい。

歴史学習とは何百年もの事件をつめ込むことではない。どのような筋道によつて現在は建設されてきたのか。社会はどんな発展法則で変化してゆくのかわか。その中でぼくらはどんな役割を果たさなければならぬのか。歴史科学とは、そのことを生活と生産のかかわりあひの中で、実証的に究明してゆくものだ。その為に明日も時間をみつめて、調査をつづけてゆきたい。

か婦福祉資金スタート

子の年令による制限撤廃

十月一日から厚生省の券(か)婦福祉資金貸付制度がスタートし、町内の母子家庭に大きな福音となっています。これまでの母子福祉資金貸付制度では、子供が満二十才以上には成長した場合は対象からオミットされていましたが、今度の券婦福祉資金は子供の成長にかかわらず対象になることになりました。

この券婦福祉資金貸付制度は、寡婦(未亡人)の経済的な自立を助けて安定した生活ができるようにするのがねらいです。

母子福祉法による母子福祉資金貸付制度で子供が満二十才以上になり対象外となった母子、また配偶者と死別、または離婚をした満四十才以上

七十才未満のひとり身の人の、養子縁組などで母となつた人(この場合、その子供を養っていること、所得税が課税されるのが条件)に貸付けられる。

貸付金の内容は、生活資金、就職したく資金、事業開始資金、子供の結婚資金も貸付けられます。貸付け限度額はそれぞれの資金によって異なりますが、最高は事業開始資金の三十万円、償還方法は一時払い、月賦、半年賦、年賦となっています。この福祉資金の借り受け希望者は町住民課または各地区の母子福祉推進員、民生委員に相談してください。

建設のあゆみ

12月～1月

1 月着工予定および工事中の事業

- ① 中央公民館建設 1007.6㎡
- ② 東町保育所建設 233 ㎡
- ③ 北清水一 T C C 線 300 m
- ④ 役場庁舎増築 623㎡ (2 階建)
- ⑤ 町営住宅建設 20 棟 (栗山地先)

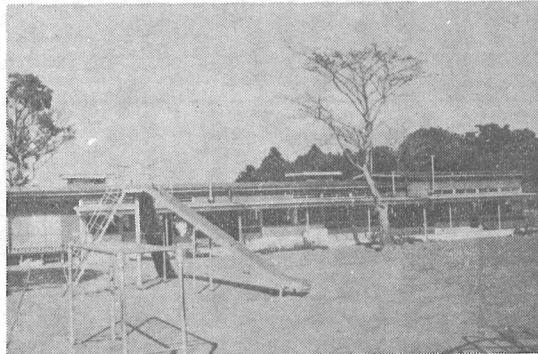
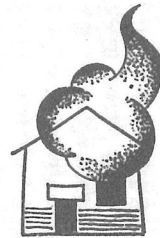


写真 43年国民年金特別融資により建設された上埜保育所

▷火災の多いシーズンです◁

火の始末

人にたのむな
まかせるな



寄附

交通事故防止 P R

用拡声機など

ロータリークラブが

町有志で構成しているロータリークラブ(代表押尾喜世治氏)から町へ、交通安全対策にと、事故防止 P R 用の拡声機などの寄附がされました。

町では早速、交通量の頻繁な本町交差点(電話局前)に拡声機を取り付け(県下で初)飲酒運転防止、居眠り運転防止、追抜自衛等の呼びかけを始めたところ通してゆく自動車等の運転者も「これは参った」という表情で追抜

きを止めたり、スピードを落したりする一コマもあり、町民から「非常に効果的だ」と喜ばれています。

被害児童の保護者から

悲願をこめた三万円の

寄附

夏休み中に居眠り運転の犠牲になった、古川の故鈴木利光君(横小五年)の父親孝夫さんは「この惨事を繰返さないように役立てて」と三万円を横芝小学校に持参されましたので小学校では交通安全協会と相談し、事故現場附近に居眠り運転追放の標識を建て鈴木さん御一家の悲願にこたえることになりました。

横芝俳壇

於横芝小

上町 鈴木草園

初鏡くるくる廻る和服の子
背伸びして娘と並ぶ初詣

栗山 若梅あやめ

輪飾りや子の声響く宮の森
とそ祝う娘の顔ほんのり紅さ
して

鳥沼 高壘孝子

初春の陽吾も枯野も染めつく
初空に野鳥の羽音荒くして

北清水 斎藤ちくろ

歎初め何はともかく我は祝わ
ん
明治のしざり守る心や飾り

北清水 伊藤美佐子

賀状受く縁がわに陽のあたり
来し
賀状読む一つ一つを夫に渡し

古川 藤代ゆう

天地の幸みなざりて初日の出
技能士の腕たたい年賀の子

新島 伊藤鉄弓

初日影浴びて平和な犬の顔
豪快な日の出や海より出る初
日

東町 石川奇水

明け近くなりし焚火や恵方寺
庭に来て常日の如し初雀

東町 土屋栗水

門松の商魂こめて立てられし
初春の日溜りにお梅の鉢

保育所入所申請

について

住民課では、四月から子供さんを保育所に入れたいと希望しておられる方々に對し、次の要領で申込みをされるよう呼かけております。

申込の場所と期日

役場住民課で一月十日から二十四日まで受付いたします。

添付するもの

昭和四十四年度町税納税通知書または給与所得者は源泉徴収票

申込書

住民課又は各保育所(園)に用意してあります。申込みをする時は印鑑と

社会福祉総合調査

にご協力を

千葉県では、こんど、県民の誰もが幸福で豊かな生活を営めるよう、福祉対策を立てるため「社会福祉総合調査」を一月一日現在で行うことになりました。

このため町では民生委員と母子福祉推進委員の方たちが、各家庭を訪問して調査することになっています。

調査内容は絶対秘密に取扱いますのでご安心の上、ご協力下さるようお願いいたします。